

**EP-SOGO Co., Ltd.**

# INFORMATION NOTE



# One Step Forward.

SMO(治験施設支援機関)の創成期は、世の中に治験についての正しい知識を持っている人が少ない時代でした。

SMOから医療機関へ派遣されたCRC(治験コーディネーター)は、「チケンはキケン」という思い込みから相当肩身の狭い思いをしていました。医療機関に派遣されてもCRCの部屋は用意されず、壁を机代わりにして書類を作成したり、院内に待機場所が無いので雨が降っているなか傘をさして入口の脇に立っていることもありました。院内スタッフからは、「ドクターと何かコソコソやっている人」というイメージでしかなかったかもしれません。

ただ、そんな中でもCRCはいつも笑顔でドクターや院内スタッフ、患者さんに向き合ってきました。

新薬を待ち望む患者さんにいち早く薬を届けたいという想いを胸に...

時は経ち、世間の治験に対する認識は様変わりしました。今日ではCRCのポジションも確立され、昔のようなことは無くなりました。治験は年を追うごとに煩雑で複雑になり、求められるスキルも高く、今や「CRCなくして治験は進まない」とまで言われるようにもなりました。治験を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、SMOの在り方も大きく変わろうとしています。

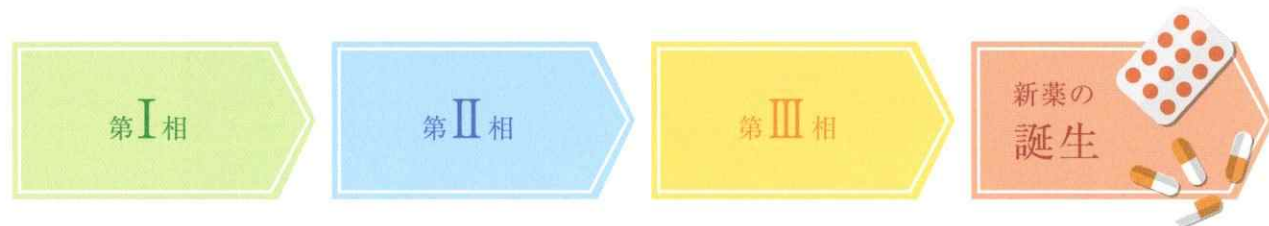
SMOが誕生してからおよそ20年。  
SMOは新たなステージへと向かわなければなりません。

EP総合はリーディングカンパニーとして、常識や固定観念にとらわれない柔軟な考えのもと、SMOの明日を切り開いていきます。

NEXT STAGEを担う新しい力を、EP総合は求めています。

# 治験とは?

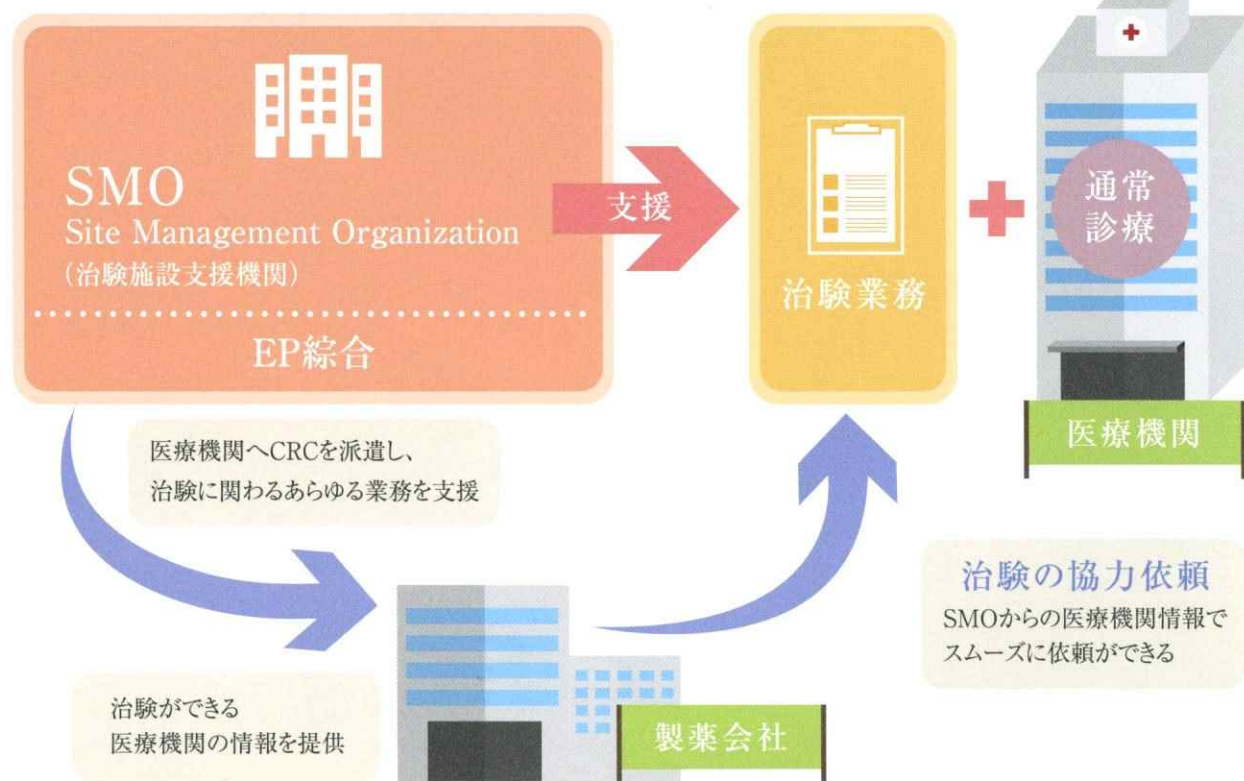
新薬の候補物質である「くすりのたまご」が、安全で実際に人に効果があるかを調べることです。第I相試験～第III相試験までステップを重ね、主に医療機関で実施されています。



## 治験における SMOの役割

SMO(治験施設支援機関)は、治験実施施設(医療機関)と契約し、GCP※に基づき、適正で円滑な治験が実施できるよう、医療機関において煩雑な治験業務を支援しています。

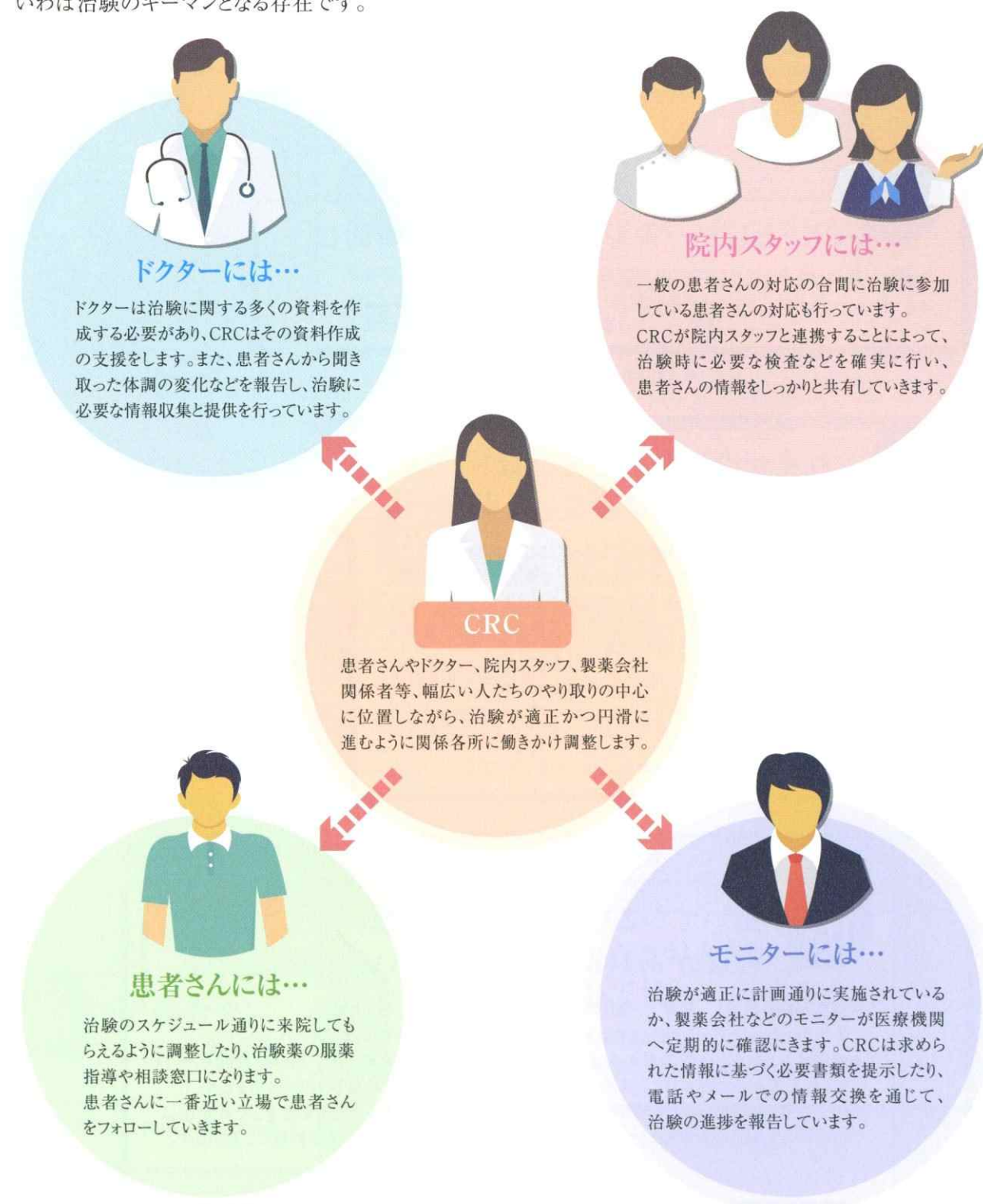
※GCP(Good Clinical Practice医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令)



医療機関では、日々の診療業務に加えて「治験業務を実施する」となると、業務量の増加によるマンパワー不足や、様々な治験のルールが伴うなどの観点から思うように治験が進まないことがあります。そこで治験の専門家であるSMOが医療機関の治験業務を支援することによって、ドクター、院内スタッフの負担を軽減し、治験の品質・スピード向上をサポートします。

# CRC (治験コーディネーター)とは?

医療機関における治験業務全般を中心となって進めていく、いわば治験のキーマンとなる存在です。



VOICE  
01

CRCになろうと思ったきっかけは？

- 患者さんとの関わり方が自身の理想と重なり、医療への貢献度の高さを感じたことがきっかけです。
- 検査技師の勉強をしていましたが、患者さんと接する仕事がしたいと思ったためです。
- 新薬開発に携わるという“未来へ向かった仕事”に感銘を受けたからです。

VOICE  
05

CRCとして働く上で気をつけていることは？

- あいさつ、積極的にコミュニケーションをとるように気を付けています。
- 治験薬は承認されていない薬のため、常に何が起るかわからないという意識を持って働いています。

VOICE  
02

CRCとして一番やりがいを感じる瞬間は？

- 患者さんやドクターからCRCとして信頼されていると感じるときです。
- 患者さんにCRCさんが居てくれてよかった、ありがとうと言っていたときです。

VOICE  
06

入社前後でギャップに感じたことがあれば教えてください。

- 就職活動時からCRCは業務範囲が広いと聞いていましたが、実際にCRCとして働くようになり、非常に幅広い知識が求められることを痛感しています。
- 患者さんに治験へ参加してもらい難しです。治験に参加していただくためには本当に色々な条件をクリアしないと行けないので、条件に合致する患者さんを見つける難しさに一番ギャップを感じました。

VOICE  
03

これまでで体験した失敗は？  
そこから何を学び得ましたか？

- 先輩CRCに報告不足によって迷惑をかけてしまったことがあります。「大事なことはないし、先輩は忙しい」と思って報告することをためらってしまいましたが、大事かどうかは私が判断することではなく、報告された側が判断するので、どんなに些細なことでも報告が必要かを迷うものはすべて報告するべきであるということ学びました。
- 患者さん対応やイレギュラーな事が起こり焦っていた際に、メールの宛先を誤って送信してしまいました。それからは、どんなに急いでいても、少し時間がかかっても、一呼吸おいて行動するように心がけています。

VOICE  
07

EP総合に入社した理由は？

- スーパーフレックスタイム制でコアタイムがなく、勤務を自己調整しやすいところに魅力を感じました。また、自分の希望する地域にオフィスと支援施設があった点も理由の一つです。
- 社員の方の人柄、雰囲気に惹かれました。
- 教育制度に力を入れているところです。CRCの業務は一般的にも知られていないことが多いのですが、研修期間を通してきちんと学習することができました。また、がん領域に強いところや、大きな病院からクリニックまで幅広い施設で働くことができることも魅力のひとつです。

VOICE  
04

働いている中でためになった経験があれば教えてください。

- 国際治験を担当し、世界で1例目の患者さんを治験に登録したことです。手探りの中、ドクターやCRA(モニター)と協力しながら登録を進めました。
- 患者さん(小児)に保護者の方が、「今あなたがこのお薬を使っているのは治験をやってくれた人がいたからだよ。」と説明されていて、私も原点に立ち返ることが出来ました。
- 担当する治験毎に新たな病気や薬剤の知識を学んでいることだと思います。それが次に担当する治験につながることも多くあるので、「日々学ぶこと」がためになる経験だと思います。

VOICE  
09

EP総合を一言で表すと？

- 張り合い
- 挑戦
- 日進月歩
- 能動的で勢いがある

VOICE  
08

これからどのような人に入社してほしいですか？

- 柔軟性・積極性・吸収力のある人。
- 失敗も成功も、良い意味でポジティブに考えられる、明るく前向きな人。

# 先輩の声

EP総合でCRCとして働く先輩に  
9つの質問をしました。



Interview  
01

自分の携わったお薬が  
患者さんの役にたてるように!

新卒入社  
Iさん



CRC(治験コーディネーター)になろうと  
思ったきっかけは?

もともと臨床検査技師になるために専門学校に通っていたのですが、学内での就職研究会に参加した際にCRCの話聞いたのがきっかけです。もともと人と話すことが好きで、CRCであれば製薬会社や医療機関、患者さんとコミュニケーションをとりながら仕事ができると知り、自分にとってやりたい仕事のイメージに合致しました。EP総合を選んだのは、社員との交流を通じて雰囲気の良さを感じたことや内定者同士のつながりも大きかったからです。また、地元の新潟にもオフィスがあったので、将来的には新潟でも働ける可能性があるとも思いました。

CRCの働き方について教えてください。

現在は茨城エリアで働いています。まず出勤したらメールをチェック

して、医療機関の始業のミーティングに参加し、その日に来院される患者さんの情報などを共有します。そのあとは来院される患者さんの対応準備や治験についての説明内容を確認したり、院内スタッフと検査の流れなど確認します。患者さんの対応が終了したら書類を作成したり、データ入力作業を行ってその日の治験に関わる業務が完了します。他には検体処理なども行います。

やりがいを感じる瞬間は?

お薬によって治験期間は様々なのですが、この仕事を長く続けていると治験からお薬が世に出るまでを体験することができます。自分が携わったお薬が実際に世に出たという話を聞くとやっぱり嬉しいです。自分が関わったものが形になるので達成感も大きいです。

今後の目標を教えてください。

私が今担当しているのは、今まで治験を行ったことがない医療機関です。医療機関の方々も全てが初めてな分、大変なことも多いのですが、それ以上にやりがいを感じています。自分なりにやりやすい方法などを日々模索しながら仕事を行っているので、いずれそのノウハウを活かして、より治験に協力してくれる医療機関を増やしていきたいと思っています。また、EP総合自体がまだまだ発展途上で上昇志向もあるため、新しい取り組みをしたり、色々なことに挑戦していける環境があります。これまでの経験をベースに更にキャリアアップして会社に影響力を発揮していきたいと思っています。

Interview  
02

患者さんの声が  
何よりの励みになります!

新卒入社  
Sさん



CRC(治験コーディネーター)になろうと  
思ったきっかけは?

以前、母親が喘息持ちだったのですが、新薬が出たときにこれまでの薬よりも症状が改善されたことがあって、薬ってすごいんだなと感じた経験があり、「新薬」にはずっと興味がありました。もともと大学では理学部の生物学科を専攻しており、学内の医療業界セミナーに参加した際に、SMOの役割やCRCの面白さに惹かれたのがきっかけです。EP総合を選んだのは、どの企業よりも雰囲気が良くて自分に合っていると感じたからです。

CRCの働き方について教えてください。

基本的に担当している医療機関に直行直帰の形で働いています。月に1~2回、ミーティングがあるときに支店に帰っています。普段は午前9時くらいに医療機関に行き、患者さんの対応をし、午後は報告書の作成や書類整理をしていることが多いです。日によってはカルテから治験に協力してくれそうな患者さんを探したりすることもあります。ルーティンワークではないので都度調整しながら予定を立てていきますが、そういうところも楽しいですね。自分自身はコミュニケーションが得意ではなかったのですが、CRCの業務を通じて「相手の立場・目線に立つ」「先回りして考える」などの重要性に気付いてからは、自分の考えを伝えられるようになりましたし、成長を実感しています。

やりがいを感じる瞬間は

患者さんに「あなたに担当してもらえて良かった。」と言われたときはすごく嬉しいですね。モチベーションのアップにもつながりますし、患者さんのために丁寧にフォローしてきて良かったなと感じます。

今後の目標を教えてください。

研修時から今まで同じ医療機関を担当しているのですが、今後は様々な医療機関に行って経験を積んでいきたいです。医療機関ごとに得意とする疾患や院内のルールも違うので、様々な部分のノウハウを学びながら、どんな医療機関でもスムーズに対応できるようになり、頼られる存在になっていきたいです。



# 新卒入社のHさんと 中途入社のSさんに、 それぞれの立場から普段の働き方 心がけていることについて聞いてみました！

## 大きな企業だからできること

**S** 私は前職もCRCの仕事をしていたのですが、夫の転勤を機にEP総合に転職しました。引越し先の秋田に前職の支店がなかったんです。EP総合は、秋田はもちろんのこと、全国展開している大きな企業。今後同じようなことがあっても働き続けられるなと思ったのが決め手でしたね。

**H** 私は新卒で入社したんですが、同じくEP総合が大きな会社だというのは入社の決め手の一つです！やっぱり未経験で入るので、大企業で研修制度がしっかりしているというのは安心感につながりました。入社してから半年間は先輩方にしっかりとフォローしてもらって、色々なことを学ばせていただきましたね。Sさんは入社後はすぐに現場で働き始めたんですか？

**S** そうですね、CRCとしては知識も経験も積んでいたもので。会社独自のシステムなど最低限のことについては研修を受けてから、すぐに現場に入った感じです。その後いくつかの支店で働きましたが、支店ごとの雰囲気の違いに触れるたびに「やっぱり大きな会社だなあ」と感じていますね。



## フレックス制度で公私ともに充実！

**H** ちなみに以前の職場と比べて、特に大きく違うなって思うところはあるんですか？

**S** やっぱり一番違うと思うのは、業務形態がフレックスというところですかね。しかも、コアタイム（業務に就いていないといけない時間帯）のないスーパーフレックス制度。すごく便利だなと感じています。

**H** 今までもずっとフレックス制度はあったんですが、ここ最近コアタイムがなくなったんですね。私もおかげでスケジュールの調整がしやすくなりました。CRCは急にドクターのアポイントが入ったり、午前中に仕事が集まると、予定が流動的になりやすいです。固定された業務時間帯がない分、より効率的に予定を組みやすくなったと感じています。自分の都合だけを優先してスケジュールを組むことは出来ませんが、空き時間を残った事務作業などに充てられるので、残業にはならないです。

**S** そうそう、CRCってルーティンワークじゃないから、毎日決まった時間に何かをするってわけじゃないんですね。あと個人的に感じているのは、仕事の予定だけではなくて、子どもがいる人にとっても働きやすい制度だなと思っています。私は最近育児休業から復職したばかりで子どもが小さいのですが、つい先日子どもが腸炎になったから早く迎えに来てくれと保育園から連絡がありました。その日の仕事の都合などはもちろんありますが、そういった緊急時にも自分で調整して対応ができる安心感がありますね。

**H** 仕事とプライベートのバランスが取りやすいっていうのは確かにありますね！早めに切り上げてアフターファイブを楽しむなど、メリハリをもって生活を楽しめる気がします。

## CRCに向いてる人って？

**H** Sさんは、普段お仕事をする上で心がけていることってありますか？

**S** 個人的には、製薬会社や医療機関とのやりとりでは、相手のニーズをきちんと汲み取って提案するようにしています。相手の手間を極力省けるような工夫をしたり、など。ただ正直、この仕事って正解がないので、常に試行錯誤ではあるんですけど。

**H** わかります！常に新しいことを覚え続けたいいけないし、仕事の幅も広いし、日々試行錯誤をしながら仕事に取り組む感じですよね。

**S** 逆に、そういった試行錯誤を楽しめる人であれば向いていると言えると思います。新しい物事に対して常に探究心をもってぶつかっていく人。



**H** そうですね。あとは、その場でできないことなどが発生しても、「次に同じ状況になったらどうすればいいだろう」と前向きに考えられることも大事な、と思います。向上心がある人なら、この仕事はとても楽しいし飽きないんじゃないでしょうか。

## キーワードでみる EP総合の 特長

SMO業界 No.1

質・量ともに  
**圧倒的な競争力**を獲得

SMO業界の発展をリードしてきた当社は、売上規模、CRC(治験コーディネーター)数が業界最大となった今も、さらなる成長を目指し取り組んでいます。この先も圧倒的No.1企業として豊富な実績と高度なノウハウを活かし新薬開発に貢献していきます。

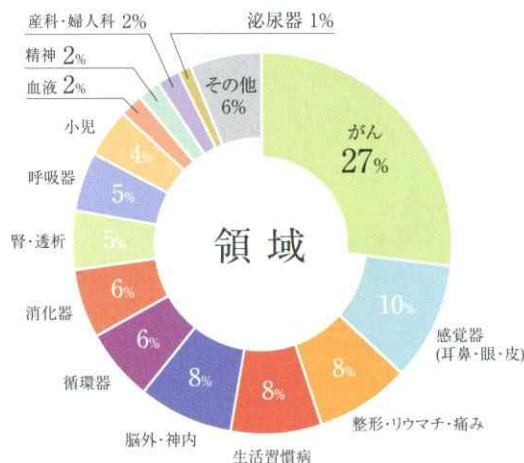
業界唯一の  
シェア

**40%超**

がん領域

**がん** 治験の  
受託実績で強みを発揮

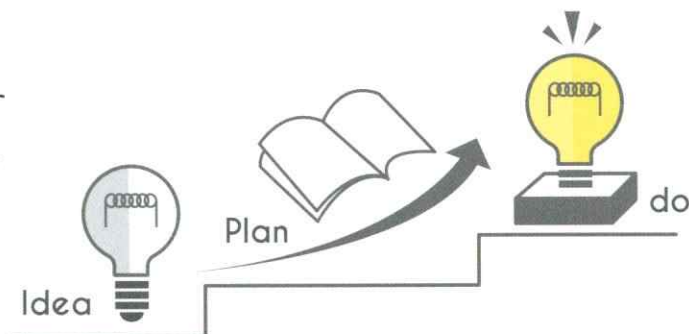
高度な医療知識と専門性が要求されるがん治験に対応できるプロフェッショナルなCRCの育成に注力。「がん領域」を当社の強みとして、ブランド力向上のために全国のがん拠点病院との提携も強化しています。



新規事業

新たなステージへ  
**挑戦**し続けます

従来のSMOの枠組みを越え、次のステージを見据えた新たな事業領域にも着手しています。



働きやすさを重視した  
**福利厚生制度**

社員が働きやすい環境作りに入れています。充実した福利厚生制度のほか、社員のモチベーションにつながるイベントを企画しています。

スーパーフレックスタイム制

ワークライフバランスの  
実現を支援



有給休暇

入社日に**10日間**付与

(4/1入社の場合)  
※入社日で変動します。



リフレッシュ休暇

リフレッシュ休暇を  
付与

(8/1に5日支給)  
※入社日で変動します。



育児休業

子どもが**3歳**  
になるまで取得可能

育休取得者:90名  
(平成29年12月現在)



育児補助支援金

育児休業からの復職より、  
**3ヶ月**経過後支給

復職者:41名  
(平成28年度実績)



## EP総合の会社概要&amp;沿革

## 会社概要

社名	株式会社EP総合(英文社名 EP-SOGO Co., Ltd.)
本社所在地	〒162-0821 東京都新宿区津久戸町1番8号 神楽坂AKビル
設立	1999年(平成11年)12月24日
資本金	1億円

## 沿革

1999年12月	東京都文京区後楽に株式会社イーピーリンク(現当社)を設立	2016年1月	EPSホールディングス株式会社が株式会社総合臨床ホールディングスと経営統合
2005年7月	株式会社イーピーリンクと株式会社ミントが合併し、株式会社イーピーミントに商号変更	2016年5月	株式会社イーピーミントと株式会社総合臨床サイエンスが合併し、株式会社EP総合に商号変更、国内最大のSMOへ
2011年9月	株式会社イーピーミントが、JASDAQ市場へ株式上場	2016年10月	株式会社総合臨床ホールディングスを吸収合併し、株式会社総合臨床メデフィを完全子会社化
2012年4月	株式会社イーピーミントが、株式会社エスメディサを吸収合併	2017年6月	株式会社エスエムオーメディシスを完全子会社化
2013年3月	株式会社イーピーミントと株式会社総合臨床サイエンスが業務提携契約を締結	2017年10月	株式会社エクサムを完全子会社化
2015年1月	株式会社イーピーミントが、EPSホールディングス株式会社の完全子会社に	2018年1月	株式会社エスエムオーメディシスを吸収合併
		2018年7月	株式会社エクサムを吸収合併



# 株式会社EP総合

〒162-0821

東京都新宿区津久戸町1番8号 神楽坂AKビル

✉ [shinsotsu@eps.co.jp](mailto:shinsotsu@eps.co.jp)

🌐 <http://www.epsogo.co.jp>

